

宇井可道 うゑのかみち 歌人。天保八年八月二十六日紀伊國(由全妻郡)三栖村
生れ、大正十一年十一月十日歿(八三七一九三)。幼名三平、通稱國助、
八十八郎、八十一郎。號璞屋。少時兒島龍仙に漢籍を學ぶ。慶應二年
熊代繁里の門に入り、皇國學、歌學を修めた。これよりま上三栖庄屋
のうち村長、以後郡村の事になる。明治二十二年同門多屋梅窓、那須宗
道等と歌會晚櫻會(大正元年良璞社と改稱)を興し、「櫻集」三編を
作る。生涯歌作一萬二千餘首といふ。他に「璞屋隨筆」十七冊を残し
た。遺稿「璞屋集」(大正十二年三月十日和歌山・宇井盛藏編輯)。

